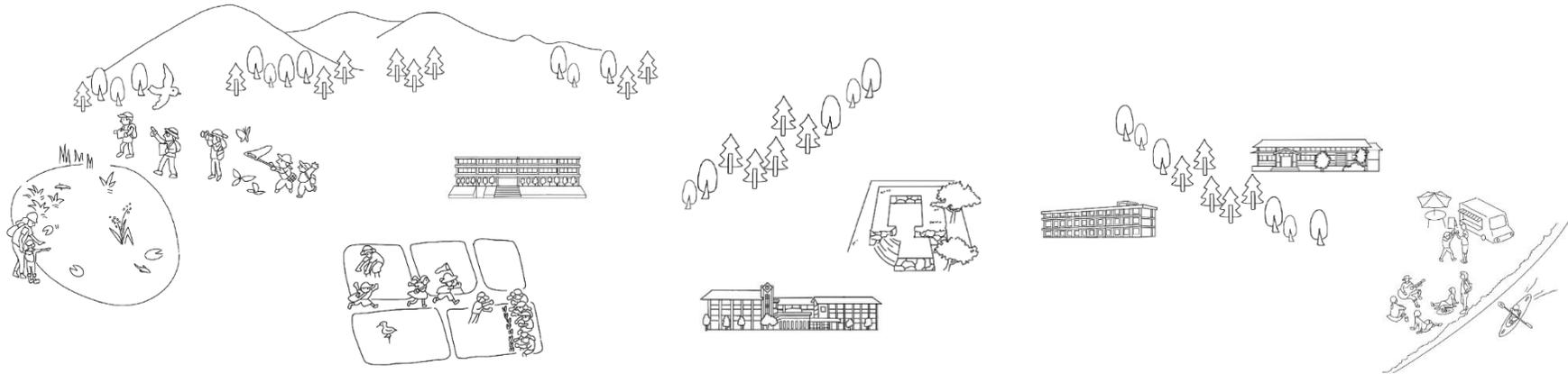


小学校区を中心としたコミュニティ形成支援業務



【玉城の地域コミュニティの状況】

自治区の高齢化及び人口減少がある中で、宅地開発による転入人口の増加もある。既存の自治区の加入率は低下しており、地域のつながりの希薄化や住民自治による地域課題への対応能力の低下が懸念される。このため、移住・転入者や関係人口の受入体制の充実による“外からの人の呼び込み”とともに、“内の人をつながり”を強化することが求められている。

そこで、平成28年度より「TMK未来デザインPJ」を立ち上げ、これまでに4自治区で、当地域の住民に対する地域理解の促進や郷土愛の醸成につなげる取組を行っているが、実施した一部の地域の取り組みとどまっている。

実施地域の拡大、全町的なコミュニティ活動の活発化を行い、協働のまちづくりにつなげていくことを目指している。

【本事業のめざす将来像】

本事業は小学校区単位で地域住民・移住者・関係人口等が連携したコミュニティ形成を通じて、公的支援だけでは対応しきれない地域課題の解決につなげるとともに、それら多様な人材が地域で居場所と役割を持つことで、郷土愛の醸成や定住人口の定着・維持・増加、住民協働による当町の地域活性化や持続的発展を目指す。

[本事業で目指すコミュニティの姿]

★町民の「やりたい」「役に立ちたい」が実現できる環境や仕組みが玉城町にある。

★町民の取組が、歴史・産業・福祉・健康・防犯・防災・子育て・教育、住みやすさにつながっている。



★すべての町民が、町内の3人以上の誰かとつながっており、孤立したり、取り残されたりしない。



★町民の元気、取組、つながりが玉城町の自慢になり、玉城町に「住みたい」「住み続けたい」人の増加につながっている。



★自治区も自治区以外のつながりも、元気な玉城町の基礎となっている。

令和5年度に、3年間の事業の集大成として、町民の活動を見える化し、今後の活動の推進を図るため、

『(仮称)たまき つながる 博覧会 2023』としてイベントを開催

[令和3年度の実績]

○全住民アンケート調査	<p>2021年11月～12月に小学4年生以上の全住民14,116人を対象にアンケート調査を実施し、一般住民及び小中学生の合計6,141人から回答をいただいた。有効回収率は43.5%であった。住民の皆さんの地域に対する思い、コミュニティについて、地域活動について、地域資源等を聞いた。</p> <p>報告書として取りまとめ、区長会や広報を通じて結果を報告している。</p>
○自治区アンケート調査	<p>全69自治区を対象に、アンケート調査を実施し、現時点で64自治区から回答を得ている。自治区の状況、活動の状況と負担感、課題、将来への展望等について区長の立場からの意見を聞いた。</p> <p>各自治区の状況、小学校区や町全体との比較等により、地域の特徴を診断した「地域カルテ」を作成し、5月の区長会で、各地区に結果をお返ししている。</p>
○住民参加のワークショップ「玉城おしゃべりサロン」の開催	<p>当初対面での実施を目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインで2回のワークショップを実施した。</p> <p>参加者は小学生から90歳代の方まで住民の参加を得て、下記のテーマで話し合った。</p> <p>第1回テーマ「まちが楽しく住みよくなる『こんな暮らし』を話し合おう！」</p> <p>第2回テーマ「みんなの『こんな暮らし』を実現する方法を話し合おう！」</p>
○住民座談会	<p>一般の若い世代の住民を対象に、アウトリーチ型で玉城町の住み良さ、地域の課題やその課題解決のアイデア等について意見交換を行った。</p>
○各種団体・住民を対象にしたヒアリング調査	<p>玉城町をフィールドに活動する各種団体等へのヒアリング、様々な会議・イベント等への参加・意見聴取、若手職員へのヒアリングを行い、地域での活動状況、地域の課題、課題解決のためのアイデア等をヒアリングした。</p> <p>「玉城おしゃべりサロン」への参加、R4事業への協力を依頼している。</p>
○地域コミュニティコーディネーター候補者リストの作成	<p>様々な活動をけん引する、あるいは調整する役割を持つ「コミュニティコーディネーター」について可能性のある人のリストを作成した。</p>
○まちづくり懇話会の運営支援	<p>各小学校区で自治区長をはじめ、各種役員、民生委員、警察に参加していただき、まちづくり懇話会として、地域の課題、今後の地域のあり方について意見交換を行った。</p>
○コミュニティ研究会への参加	<p>コミュニティ研究会に参加し、各種調査結果の報告、意見交換、コミュニティ形成方針案に対する意見聴取を行った。</p>
○コミュニティ形成先進事例調査	<p>様々な地域コミュニティのあり方、形成経緯等について文献調査を実施した。</p>
○コミュニティ形成方針案の作成	<p>今後の玉城町の地域コミュニティのあり方についての形成方針案を作成し、コミュニティ研究会での議論を行った。</p>

[令和4年度の取り組み予定]

●町民主体の試行事業の企画に向けたワークショップ	「おしゃべりサロン」で出されたアイデアを実現すべく、話し合い、実行の計画を立てるためのワークショップをプロジェクトごとに随時行う。
●町民主体の試行事業の実践に向けた支援	アイデアの実践に向けた支援を行い、8事業以上を立ち上げる。 試行事業では、年に複数回実行に移せる事業から、検討期間をしっかりと取り年1回程度開催する事業まで、規模感の様々な事業に合わせて、事業計画の立案から検証まできめ細やかな伴走型の支援を行う。 今年度立ち上げる試行事業では、次年度実施予定の「(仮称)たまきつながる博覧会2023」を目標に育てていく。
●持続可能なコミュニティ形成のための運営体制の検討	今年度はまず、地域で活動する人たちが一堂に集まって情報交換・意見交換を行う。 その場では、「めざすコミュニティの姿」「協働のまちづくり」「たまきつながるプロジェクトのアイデア」等について話し合い、コミュニティ形成方針案に反映する。
●自治区や今後の地域活動を担う人材育成	自治区長や地域活動を行っている人・これから行おうとしている人を対象に、座学の研修と先進地の視察を実施する。 先進地視察（令和4年7月23日（土）） 愛知県知多市南粕谷地区～住民が高齢化する中で、住民主体の様々な地域活動を実施している地区～
●令和3年度実施アンケートの深掘り分析、町民への報告	昨年度実施した住民アンケートをさらに分析し、どんな人がどのような課題を感じ、どんな活動をしたいと考えているのかを、明らかにして本事業への参加促進に活用する。 アンケートの結果は、住民が参加する会議や様々な場を通じて報告していく。
●行政と町民が共有する新しいコミュニティ形成方針の策定	昨年度作成した案をもとに、住民、有識者、庁内会議でより多くの方の意見を伺い、必要な視点を加えることで、玉城町の実態に即した方針へとブラッシュアップし、「目標とする姿」「めざすコミュニティの姿」を町民に浸透させ、コミュニティ醸成につなげていく。
●持続的な自治区運営に向けた検討や取組の支援	希望する自治区に対して、地域カルテの報告、地域課題や取り組みたいことについて話し合いの支援等を行う。

[令和5年度の実施意向]

●「 (仮称)たまき つながる 博覧会 2023 」開催	3年間のプロジェクトの総決算+これからのキックオフとして令和5年10~11月の2ヶ月間、多くの町民が参加し、町内の至る所で町民の取組が実践されるオンパク型イベントを開催する。
●町民主体の試行事業の実践に向けた支援	町民が主体的に活動する事業の支援を引き続き行い、「(仮称)たまきつながる博覧会2023」へつなげる。
●持続可能なコミュニティ形成のための運営体制の検討	コミュニティに関連する人たちが一堂に集まって情報交換・意見交換を行う場をつくり、参加者・関係者を増やしていく。
●行政と町民が共有する新しいコミュニティ形成方針の策定	コミュニティ形成方針案(Ver.02)をさらにとブラッシュアップし、「目標とする姿」「めざすコミュニティの姿」を町民に浸透させ、コミュニティ醸成につなげていく。
●持続的な自治区運営に向けた検討や取組の支援	希望する自治区に対して、地域課題や取り組みたいことについて話し合いの支援等を行う。